

12月16日開催 Microsoft Azure の始め方 6回シリーズ～ 第3 回 Azure ネットワークとサイト接続 ～

NO.	ご質問	回答
1	HUB&SPOKEの構成により、ピアリングの推移性がないデメリットを解消し。メリットのみを享受できるという理解でよろしいでしょうか？	はい、ご認識の通りです。さらに、システムごとにSPOKE VNETを割り当て、すべてのシステムで利用するような共通の部品（例えば仮想ネットワークゲートウェイやAzure Firewallなど）を配置することで、コストも最適化できます。Azure でのネットワーク構成は、基本的にHUB&SPOKEをベースに設計されることをお勧めいたします。
2	セキュリティ設定の次の画面に表示されていた「タグ」はどの様に活用するものですか？	<p>「タグ」はAzure上の様々な部品（リソース）に付けるまさにタグになります。タグは検索の際のフィルタリング要素など様々な目的で利用できますが、一つ便利な使い方としてコストの算出での利用です。通常は、Azureサブスクリプション全体でどれ位課金されているかを確認できますが、例えばリソース作成時にCostCenterというタグと部署を表すコード（1234は部門Aなど）を付与しておく、コストの確認画面でCostCenterタグが1234に一致するリソースというフィルタリングができて、部門Aはどれくらい使っているか？という情報を確認できます。</p> <p>こちらのDocsも参考になるかと思います。 https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/cloud-adoption-framework/ready/azure-best-practices/naming-and-tagging</p>